

## ◆◆◆ 生涯教育促進プロジェクト事業—第2期—スタート間近! ◆◆◆

北臨技副会長 東 恭悟

現在、北臨技では「グランドプラン2010」を策定中ですが、「グランドプラン2005」で成果をあげた生涯教育促進プロジェクト事業（以下PJ事業）の2期目にあたるPJ事業を今年度から2期4年間（平成22年度～24年度）に渡り展開することになりました。

今回のPJ事業のプロジェクト委員は、地区会単位ではなく、北臨技の10地区会を道北圏、道東圏、道央圏、道南圏の4つの圏に分け検査研究部門の5部門7検査分野の7名の候補者を各圏から推薦していただきます。

推薦基準は後記の2項目として7月末日までに推薦いただき、調整が必要な場合は各圏と生涯教育研修部や部門などと調整を図りながら委員を決定したいと考えております。

各委員には、北臨技の検査研究部門の研究活動、事業などに参加し技師会活動を学び、学会発表や論文投稿、講習会等の講師を務めるなどして専門分野での指導者を目指した活動を展開していただきます。また、地区会の事業にも関わって、北臨技との連携役も担ってほしいと希望しております。

勿論、今年度から北臨技が各圏で年1回開催予定の基礎セミナーでも積極的に活躍いただく予定であります。

10月には総勢28名の委員が決定しPJ事業がいよいよスタートいたします。各委員は、将来の地区会ならびに北臨技を担って行く技師であります。会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。

### ○推薦基準：

技師会活動に興味があり、学術的活動に意欲的な若手技師  
日臨技生涯教育研修制度一般教育研修課程修了が望ましい

### ○推薦人数：

1圏：7名（検査研究5部門 7検査分野）  
臨床化学、生理、病理、一般、微生物、血液、輸血分野

### ○圏構成：

道北圏（旭川・空知）、道東圏（北見・十勝・道東）  
道央圏（札幌・小樽・道央）、道南圏（室蘭・道南）

## 第158回講習会 終了! 生命倫理部門長 阿部 清孝

第158回講習会「症例で考える輸血検査! 第4弾」を6月19日（土）北海道大学医学部保健学科にて開催し、25名の参加者で終了いたしました。

講師を担当した大木、三浦、河原各部門員、谷越協力員らが作成した症例問題「日常業務の中に潜む問題点」を題材に、少人数グループでのディスカッションを重視した研修を行いました。意見を統一し、各グループの代表が発表し、続いて出題担当講師による症例解説が行われました。その後、全体討論へと移りましたが、4時間半にわたる長時間であるにも関わらず、講師と参加者皆さんの笑顔を交えた活発な討論が続き、有意義な講習会となりました。また、終了間際から連絡先を確認し合う姿も見られ、この場限りではない今後も相談できる相手を参加者の方々は見つけられていたようでした。

今後も会員の意見を積極的に取り入れ、受講者の役に立つ講習会を企画していかなければと痛感しました。

## 第159回講習会 終了! 生理機能部門長 土倉 和博

第159回北臨技講習会「聴覚と平衡機能の基礎と臨床 - その記録を取るために -」を7月11日（日）札幌医大記念ホールにて開催し、全道各地より49名の参加がありました。

第1講「ENG・聴覚検査の実際」では帝京大学の加賀宏技師より経験をもとに大事なポイントをご講演頂きました。

第2講「平衡機能検査をするために必要な解剖と生理」では北海道大学病院の武市紀人先生より生理的な眼球運動についてと眼球運動を記録する理由を解り易くご講演頂き、午後からの第3講「めまい診療に必要な聴覚検査」では耳鼻咽喉科麻生病院の村田保博先生より臨床医の立場から症例を中心に様々な検査のデータについて解説して頂きました。

今回の講習会の内容は、初心者からベテランまで満足頂いた内容だと思います。臨床の考え方や、必要とされる検査データをいかに患者から引き出すことが出来るかが、検査技師の力量に掛かっていると再認識させられる講習会でした。

## 日臨技会費! 「口座引落としに…」

日臨技では平成23年度より口座振替（自動引き落とし）を原則とする会費納入方式の導入準備を進めています。

この口座引落としの導入により、会員の利便性が高まると共に、日臨技会費の徴収業務を代行してきた各地臨技の業務軽減にも繋がります。また各種研修会の参加費振込みや日臨技出版書籍購入の支払い、学会参加費自動振込みなどの構想があり、会員にとっての利便性がさらに増す第一歩となると思われます。

本年9月頃から各会員宛に口座引き落としに関する必要書類の送付を開始いたします。また、各地臨技の会費についても希望があれば、日臨技に一括入金することも可能であるとしていきます。北臨技としても会員の利便性および事務局の業務軽減を含め早急に会費納入についての検討が必要であると思われま。また詳細については、会報JAMTNo.7号（11頁）に概要が掲載されていますので是非ご一読されることを望みます。

北臨技副会長 田上 稔

## ○ 綱紀肅正について ○

7月14日付け読売・毎日新聞にて「試験紙を忘れ、健診結果捏造」が報道されました。健診において尿検査試験紙を忘れていき、その後、血液検査の結果から検査結果を捏造したという事柄です。検査技師としてあってはいけないことです。たとえ、上司から指示があったとしても凜としてそのような行為に関しては異議を唱えるよう臨床検査技師としての誇りを持って対処していただきたいと思ひます。

また、日臨技ホームページに「綱紀肅正」についてアップされていますので、ご参照ください。

## ＜おしらせ 会員名簿作成のための調査＞

会員名簿（隔年発行）を9月下旬に発行します。掲載事項の確認依頼書を同封していますので、修正がある場合は8/10までにお知らせください。また、入会予定の方は手続きをお急ぎ願ひます。

※今号に求人情報の掲載はありません